



## チームで共に社会貢献

武藤 幸規 第一貨物社長

新入社員の皆さんは今日から社会人としての第一歩を踏み出すわけだが、これで六十五歳までの人生が約束されたわけではない。他人に依存することなく、自分の力を信じ自律して、自らの人生を切り開いていってほしい。

わが国はトラックが貨物輸送量

全体の九〇％を担っている中で、当社の中心となる輸送サービスは顧客から預かった商品を、全社員が一つのチームとなってバトンをリレーするように届けるもの。

一人で頑張るのではなく、皆さんも当社チームの一員となって共に社会に貢献していこう。